

スマホ使い認証強化

ネットバンキングの不正防止 低コスト構築が可能

アワードシステム

金融機関のソフトウェア開発などを手がけるアワードシステム(横浜市)は、スマートフォンを使った新たな認証強化策を展開していく。インターネットバンキング(IB)などの不正利用を防ぐのが目的で、パソコン(PC)など取引情報を入力する端末とは別の端末で追加認証する仕組みを安価に構築できる。

2014年のIB不正送金被害は前年比2倍以上の29億1千万円。各金融機関は様々な対策に取り組んでいるが、通常の乱数表は偽画面への入力で流出する可能性がある。ワンタイムパスワード生成器(トークン)や生体認証などはコスト負担が大きいのが実情。同社は、認証技術で定評があるショットツープレイ社が開発した独自の認証ツールアブリケーションの「Shot2Play」がIBなどの非対面チャネルの不正利用防止に有効と判断。連携して金融機関向けに展開していくことを決めた。

同アプリをインストールしたスマホでQRコードを撮影すると、同社のサーバーで自動的に端末を認証する機能を持つ。これまで衛星放送の番組視聴認証や大学の出欠管理などで使われてきた。IBの場合、顧客のPCから振り込み情報

を送信後、振り込み情報を含んだQRコードをPC画面に返信して表示。顧客があらかじめ登録したスマホの「Shot2Play」アプリでQRコードを撮影すると振り込み情報が画面に表示、正しければ承認する。さらに、同社のサーバーで承認情報が顧客のスマホから返信されたことを確認できた場合のみ、金融機関に通知し取引を実行。IBだけでなく、ATMに利用すれば偽造も可能。金融界の関心も高く、今後提案活動る不正出金を防ぐことを強化する方針。

ATMに利用すれば偽造も可能。金融界の関心も高く、今後提案活動る不正出金を防ぐことを強化する方針。